

2019（令和元）年度事業報告

（1） 研究発表会等の開催及び機関誌等の刊行による小児外科学に関する学術研究事業（定款第4条第1号）

1， 第56回日本小児外科学会学術集会を下記のとおり行った。

日時：令和元（2019）年5月23日～25日

場所：久留米シティプラザ

参加者数：1,252名、演題数：564題

テーマ：継往開来 ～小児外科学の継承と発展～

2， 第35回日本小児外科学会秋季シンポジウムを下記のとおり行った。

日時：令和元（2019）年10月19日（土）

場所：大阪国際交流センター

参加者数：977名、演題数：27題

テーマ：小児集中治療

概要：第27回小児集中治療ワークショップ（10月19日～20日と合同開催）

3， 学会誌「日本小児外科学会雑誌」を下記のとおり発行した（電子ジャーナルとして発行し、希望により配本した）

発行年月日	巻	号	発行部数
平成31年4月20日	55	2	150
令和元年5月23日	55	3	320
令和元年6月20日	55	4	150
令和元年8月20日	55	5	150
令和元年10月20日	55	6	150
令和元年12月20日	55	7	150
令和2年2月20日	56	1	150

4， 学会誌「Pediatric Surgery International」を下記のとおり発行した（電子ジャーナルとして発行）

発行年月日	巻	号
平成31年4月1日	35	4
令和元年5月1日	35	5
令和元年6月1日	35	6
令和元年7月1日	35	7
令和元年8月1日	35	8
令和元年9月1日	35	9
令和元年10月1日	35	10
令和元年11月1日	35	11
令和元年12月1日	35	12
令和2年1月1日	36	1
令和2年2月1日	36	2
令和2年3月1日	36	3

(2) ホームページ及び市民公開講座の開催等による小児外科学に関する広報事業（定款第4条第2号）

- 1, ホームページの全面的な改訂を行った。
- 2, ホームページの「小児外科で治療する病気」「小児外科専門医のいる病院」を刷新した。
- 3, 学会員のワークライフバランス推進に役立つ情報を発信した。

(3) 小児外科学の資格認定に関わる事業（定款第4条第3号）

- 1, 小児外科専門医制度に則り、小児外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、認定施設と教育施設を指定した。
- 2, 日本専門医機構と協働して、新しい日本小児外科学会専門医制度運用の準備を進めた。
- 3, 他に、特定教育関連施設の設置の検討、海外症例を経験症例として認める指導医認定基準の準備をおこなった。

(4) 小児外科学に関する教育制度及び医療制度の調査研究事業（定款第4条第4号）

- 1, 第35回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。

日時：令和元（2019）年5月25日～26日

場所：久留米シティプラザ

参加者数：113名

2，第10回内視鏡セミナーを下記のとおり行った。

日時：令和元（2019）年5月25日

場所：久留米シティプラザ

参加者数：129名

（5）内外の関係学術団体との連絡及び提携事業（定款第4条第5号）

1，日本医学会、日本医学会連合、日本外科学会、日本小児期外科系関連学会協議会、WOFAPS、他との連携を行った。

（6）その他この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第6号）

- ・財務の健全化に向けた検討を行い、対策を開始した。
- ・社会保険診療報酬に記載される小児外科関連の記載内容について検討を行い、適正な報酬体系を具現するために厚生労働省に対し必要な要請を行った。
- ・学術アンケート調査結果の公表を行った。
- ・定期学術集会において医療倫理・医療安全講習会（テーマ：医療安全の最新展望 Patient safety in a new perspective）を開催した。
- ・NCD 集計データの活用方法を周知するための NCD-小児外科領域会議を開催した。
- ・NCD データ及び学会保有データを利用した研究支援をおこなった。
- ・学術集会において小児救急セミナー（テーマ：熱中症・アナフィラキシー）を開催した。
- ・PALS 講習会を開催した。
- ・地震や台風、豪雨などの大規模災害時の対応について、既存の災害対策マニュアルの改訂を検討した。
- ・小児外科に関する診療ガイドラインの作成を行った。（腸回転異常診療ガイドライン）
- ・学術集会、秋季シンポジウムにおいてワークライフバランスを推進することを目的とした講演会、特別企画等を行った。
- ・移行期支援に関する診療ガイドブックを作成・更新した。

- ・移行期支援を容易にする患者サマリーの標準化を行った。
- ・移行期支援に関する意識・実態調査の準備に取り掛かった。
- ・全国小児外科施設における外科系小児救急患者受け入れ状況を引き続き、ホームページに掲載した。